

# 議会だより



## やまきた

第168号

平成24年2月1日



1月15日に開催された 道祖神祭 (山北地区)

## 目次

- 平成23年第4回定例会・第5回臨時会・第6回臨時会……………P2～3
- 委員会審査報告……………P3
- 審議結果……………P4
- 議会改革に取り組みます……………P5
- 県外行政視察の報告……………P5
- 一般質問……………P6～9

再生紙を使用しています。

# 平成 23 年 第 4 回 定例会 (12 月 議会)

平成 23 年 第 4 回 定例会を 12 月 6 日から 8 日までの 3 日間で開催しました。

主な議題は、一般会計と特別会計の補正予算でした。他に条例制定 1 件、条例改正 2 件、工事請負契約 1 件を審議しました。

## 条例制定

〔山北町障害者地域作業所の設置及び管理に関する条例〕

障害者地域作業所が建設されたことに伴い提案され、全員賛成で可決しました。

## 条例改正

〔山北町砂利採取条例の一部の改正〕

法定外普通税として、5 年間の延長の一部改正で、全員賛成で可決しました。

### 〔主な質問〕

#### 佐藤議員

山砂利と川砂利は課税金額が違うと思う。従来の課税内容でよいのか。また、業者等々の意見は聞いているのか。

答弁 山砂利は 1 立方 10

円、川砂利は 1 立方 15 円の従来通りの課税とし、更に、関係業者等からも意見を聞き協力に同意をいただいています。

〔山北町消防団条例の一部の改正〕

消防組織法に基づく条文の整理と、定員の見直しに合わせた一部の改正で、全員賛成で可決しました。

### 〔主な質問〕

#### 府川議員

従来の団員の定数は 229 名で、説明では 218 名になります。欠員があるがその現状と対策は。また、第 4 分団は 16 名であったと、記憶しているが。

答弁 実数はここ 10 年

来、平均 206 名で団員が欠員になっています。今後、

本団や分団長、更に関係者等に相談し、検討していく考えです。第 4 分団につきましては、ここで 15 名にはつきり決めるものです。

#### 渡辺議員

最近では防災に対する意識の向上により、消防団が認識されてきている。一分団 15 名と均等な人数でよいのか。地域防災計画にあわせて、地域の実情をみて見直す必要があると思うが。

答弁 今後の課題として

考えていきます。

#### 小栗議員

消防の広域化が考えられているなか、条例で、管轄区域を山北町区域で枠をはめてしまうことは、透間や村雨地域における隣接町等への応援出動についてどのように考えているか。

答弁

近隣町との関係については、別途応援協定があり、そこで運用ができるものと考えています。

#### 佐藤議員

消防団長の任命には、町長がこれを任命し、一定の事由により罷免するところがあるが、この一定の事由とはどのようなことを指しているのか。

#### 答弁

基本的には、反社会的な行為の部分が主になると思います。

## 補正予算

### 〔一般会計〕

歳入歳出それぞれ 404 万 8 千 7 百円を追加し、歳入歳出の総額を 53 億 7 千 0 万 2 千 8 百 1 千円とするものです。主な歳入は、町税の増収見込み、台風による災害復旧のための県補助金及び子ども手当の国・県負担割合の決定による増額で、主な歳出は、災害復旧費の増額と子ども手当の支出額決定に伴う減額などで、全員賛成で可決しました。

### 〔主な質問〕

#### 瀬戸(恵)議員

地域支え

地域支え

合体制づくり事業で、ともしびショップの環境整備について具体的に説明願います。

#### 答弁

県の全額補助で、ともしびショップのカウンター整備と、新メニューを開発するための費用です。

#### 渡辺議員

町民税の法人税割が当初予算に対して 2 千 5 百 万 円程の増額になっているがその要因は。また、タバコ税は増税かタバコの売り上げ本数によるものか。

#### 答弁

主な企業は、レアメタルのリサイクル会社と、シリコンを扱っている会社の 2 社が要因です。また、タバコ税の関係は増税による伸びで、売り上げ本数は従来の 92 パーセントに落ちています。

#### 鈴木議員

保育所の町外委託が 4 人も増えたことは、町で受け入れができたのか、保護者との話し合いをしたのか。

#### 答弁

母親が町外に勤めているため、職場のそばの保育園に預けている。今後とも積極的に話し合いをしていきます。

学校統廃合推進事業で、各校校章等の検討に入る説明があったが、検討委員はどのような方で、何名で構成するのか。

#### 答弁

まずは準備委員会を設置し、委員は地域・学校の先生・保護者の代表者など 16 名で検討します。

#### 藤原議員

庁舎の免震装置のオーバホールを修繕費で計上しているが、本来は維持管理費ではないか。

#### 答弁

東日本大震災で、免震装置に破損が見られたので修繕費に計上した。

#### 藤原議員

山北駅北側建築アドバイザー業務委託料には設計等の部分は含まれているのか。

#### 答弁

町営住宅の性能等に関わる技術的な提案・助言をいただくもので、設計等は含まれていません。

### 〔下水道事業特別会計〕

今回の補正予算は歳出だけではないのは、酒匂川流域下水道管理事業負担金及び建設費負担金等の確定によるもので、全員賛成で可決しました。



### 〔介護保険事業特別会計〕

主な歳入は、給付費の増による支払基金交付金、国・県支出金等の増額で、主な歳入は、保険給付費の増額などで、全員賛成で可決しました。

### 〔水道事業会計〕

主な歳入は、昨年の台風9号により被災した施設機器類の保険金収入の増額で、主な歳入は今年の台風により被災した施設の修繕費の増額などで、全員賛成で可決しました。

### 〔主な質問〕

〔渡辺議員〕 保険金の充当率は。

〔答弁〕 皆瀬川浄水場の機械設備で、7割程度が充当されています。

### 工事請負契約

〔皆瀬川用水取水堰災害復旧工事〕

契約金7045万5千円。  
（株）松永組（山北町山北代表取締役 松永高治）であり、全員賛成で可決しました。

### 第5回臨時会

（9月30日開催）

### 補正予算

#### 〔一般会計〕

台風12号及び15号により被災した町道等の復旧費として、歳入歳出それぞれ4490万円を追加し、歳入歳出の総額を53億2979万4千円とするものです。主な歳入は町債による土木債の借入、主な歳入は農林水産施設災害復旧費、公共土木施設災害復旧費などで、全員賛成で可決しました。

### 第6回臨時会

（11月29日開催）

### 条例改正

〔山北町職員の給与に関する条例等の一部改正〕

人事院勧告に伴い、職員給与を一部減額改定するものであり、全員賛成で可決しました。

#### 〔主な質問〕

〔川村議員〕 給与改定により影響する職員数は。

〔答弁〕 148名中69名の職員が対象です。

### 補正予算

#### 〔一般会計〕

歳入歳出の総額の増減はなく、補正は歳出のみで、給与・手当及び議員期末手当の減額と共済組合負担金の増額に伴い、人件費は1万3千円の減額となり、予備費を増額したもので、全員賛成で可決しました。

〔国民健康保険事業特別会計〕

歳入歳出それぞれ120万5千円を減額し、歳入歳出の総額を12億5688万2千円とするもので、全員賛成で可決しました。

#### 〔下水道事業特別会計〕

歳入歳出の総額の増減はなく、補正は歳出の人件費45万1千円の増額となり、予備費を充当したもので、全員賛成で可決しました。

#### 〔水道事業会計〕

収入支出総額の増減はなく、補正は支出の人件費233万7千円の増額であり、予備費を充当したもので、

全員賛成で可決しました。

### 報告

#### 〔専決処分の承認〕

障害者自立支援法の一部

改正する法律の施行に伴い、議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例」及び「消防団員等公務災害補償条例」

## 委員会審査報告

### 福祉教育常任委員会

福祉教育常任委員会では、山北町障害者地域作業所の設置及び管理に関する条例の審査をしました。

#### 条例制定

山北町障害者地域作業所の設置及び管理に関する条例

〔小栗委員〕 条文中に「KOMNY」という名称が出てこないが、これで良いのか。

〔福祉課長〕 特定非営利活動法人「KOMNY」は4月からとなりますが、4月以降も建物自体の名称は「山北町障害者地域作業所」や「なみ工芸」でいく予定です。

〔小栗委員〕 「作業所の管理」に関する必要な事項は規

則で定める」となっているが、規則はあるのか。

〔福祉課長〕 規則は、条例とともに告示します。

〔瀬戸（恵）議員〕 「KOMNY」の規則に合わせて町の規則も改正するのか。

〔福祉課長〕 作業内容や入所資格などについては「KOMNY」の規則に基づくこととなりますので、町の規則は建物管理に関する事項のみとする改正を行うこととなります。

〔小栗委員〕 1月1日からこの条例を施行するのはな

の一部分を改正する条例を専決処分したもので、全員賛成で承認しました。

委員長	鈴木登志子
副委員長	瀬戸 顯弘
委員	藤原 浩
同	石田 照子
同	熊澤 友子
同	小栗 直治
同	池谷 莊次郎

ぜか。

〔福祉課長〕 1月から使用を開始するためです。

全員賛成で原案とおりました。



新しく建設された障害者地域作業所

## 審議した議案と議員の賛否

### 平成23年第5回臨時会(9月30日)

議案番号	議案	議員名(議席順)	結果	川村俊治	原憲司	渡辺良孝	藤原浩	岩本章治	石田照子	佐藤光男	熊澤友子	府川輝夫	瀬戸顯弘	小栗直治	鈴木登志子	瀬戸恵津子	
				結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果
72	平成23年度山北町一般会計補正予算(第6号)		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 平成23年第6回臨時会(11月29日)

議案番号	議案	議員名(議席順)	結果	川村俊治	原憲司	渡辺良孝	藤原浩	岩本章治	石田照子	佐藤光男	熊澤友子	府川輝夫	瀬戸顯弘	小栗直治	鈴木登志子	瀬戸恵津子	
				結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果
73	山北町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	平成23年度山北町一般会計補正予算(第7号)		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	平成23年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	平成23年度山北町下水道事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	平成23年度山北町水道事業会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告13	専決処分の承認について(山北町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について)		承認	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告14	専決処分の承認について(山北町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について)		承認	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 平成23年第4回定例会(12月6日~8日)

議案番号	議案	議員名(議席順)	結果	川村俊治	原憲司	渡辺良孝	藤原浩	岩本章治	石田照子	佐藤光男	熊澤友子	府川輝夫	瀬戸顯弘	小栗直治	鈴木登志子	瀬戸恵津子	
				結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果	結果
78	山北町障害者地域作業所の設置及び管理に関する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	山北町砂利採取税条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	山北町消防団条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	平成23年度山北町一般会計補正予算(第8号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	平成23年度山北町下水道事業特別会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	平成23年度山北町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)																
84	平成23年度山北町水道事業会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	平成23年度皆瀬川用水取水堰災害復旧工事請負契約の締結について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、●は反対、/は欠席を表しています。池谷荘次郎議長は、採決に加わりません。また、報告(専決処分を除く)については、採決の対象となりません。

# 議会改革に取り組みます

## 議会あり方検討委員会を設置

地域主権関連の法整備が進み、地方自治法も改正される中、議会改革の一環として議会はどうあるべきかを検討するため、議長の諮問機関として「議会あり方検討委員会」を9月議会において設置しました。

検討課題は(1)議会の見える化(2)議員の資質向上(3)議会活動・委員会活動の活性化の大きく3点です。もう少し詳しくは、議会報告会及び町民との意見交換会の実施と運営方法、傍聴者への資料の提供や貸与等の傍聴規則の見直し、議員間の議論の活発化、議員定数のあり方などについて検討します。会議には議長も出席し、月に1〜2回の委員会を開催し、平成24年12月議会までに結論を出すことにしました。なお、各自自治議会で制定が進んでいる議会基本条例は、今回は制定せず、制定する場合は

現議員の任期中としました。委員は川村俊治、藤原浩、石田照子、佐藤光男、府川輝夫、瀬戸恵津子の各議員で、委員長に川村、副委員長に府川の両議員を選出しました。12月までに4回の会議を開催し、常任委員会の開催方法、全員協議会のあり方について検討し、一定の結論を出しました。また、傍聴規則については時代の流れに沿った改定案を作成しました。これらについては、全員協議会で議論し最終案をまとめ、条例・規則等の改正が必要なものは3月議会に提案する予定で準備を進めています。

1月からは町民への議会報告会並びに意見交換会の開催について議論しています。議会と町民がそれぞれの地域の課題を共有し、解決するための政策提案をしていく仕組みづくりを目指していきます。また、議員

## 平成23年度

## 県外行政視察についてご報告

平成23年10月18日(火)〜19日(水)

場所…長野県南木曾町役場  
長野県松本市波田水車

さわやかな秋晴れの早朝、役場を出発、一路長野県へ、途中、水引で有名な飯田市で少し早めの昼食を済ませ、水引で出来た箸置きを土産にもらい、目的地南木曾町役場に向かいました。南木曾町は長野県の南西部に位置し、面積の94%が、森林で占められており人口は約5000人、少子化が著しく進み、昭和61年から小学校統合問題が検討されてきた経緯があります。しかし、次期尚早との理由から平成元年一旦断念され、平成9年、地域からの

要望で2年余りの混迷の末、4校が3校に、その後周辺地域の学校統合や町村合併などの動きから再び小学校統合問題が浮上し、なんと、20年以上もの気の遠くなる年月をかけ、難産の末平成19年、3校が1校になり、やっと決着をはかったのです。その陰には、

川村 俊治



小水力発電「波田水車」



地域住民をはじめ、行政、議会が一体となり、各委員会を立ち上げ、地域のコミュニティを大切にすることで、英知を絞った統廃合だったそうです。

翌日は、平成17年から自然エネルギーの活用に取り組み、実績を出している松本市波田支所にお伺いし、エネルギー政策についての説明に耳を傾け、小水力発電(波田水車)の現地視察をしました。小さな水路に直径3mの立派な水車が取り付けられ、高低差0.5m発電量800W(現在発電

量250W〜300W)周囲は散策路になっており、夜は、発電された電力によってイルミネーションが灯され、ムードを盛り上げるなど、地域のシンボルとして活躍しているとか、今後は、コスト削減や河川利用等、諸問題の解決により更なる可能性が期待されます。

新しい取り組みは、軌道に乗るまでが大変で、関係各所の粘り強い気力と、根気、そして何よりも、人の心を動かす熱意だと感じました。

石田 照子



# 一般質問

- 議員が行財政全般にわたって執行者（町長）に疑問をただし、所信の表明を求める議員主導の政策論争です。
- 質問議員は前もって質問要旨を通告し、答弁の準備の時間を確保することになっています。
- 質問として適当でないものは、事務的見解をただすもの、制度の説明を求めるもの、議案審議の段階でただせるもの、道路改修などの地区要望などとされています。

山北町議会では、対面型・一問一答方式、質問時間60分以内で行っています。

\*一問一答方式とは、案件に対する疑問点を一つずつ取り上げ、納得のいくまで質疑、答弁を繰り返す方法です。また、傍聴者にもわかりやすく、緊張感のある深みを持った論戦が展開されています。

議会だよりの現行は質問者本人が作成しています。

多くの方の傍聴をお待ちしています。



原 憲司議員

## 地域振興

**Q ▶ 町の表玄関である山北駅周辺の整備を**

**A ▶ 定住者の確保と利便性の高いまちづくり**

**質問** 山北町の表玄関である山北駅と駅周辺の商店街にぎわいと活力のある街並みにするため、美感と食感を前面に出したまちづくりを推進する必要があります。

そこで、山北駅北側に中堅所得者住宅及び商業施設を建設し、生活・買い物の拠点とするために、どのような商業施設を導入するのか。

**答弁** 小規模なスーパーマーケット、飲食店やクリエイティブなどのサービス機能の導入を想定しています。

**質問** 町営住宅及び商業施設の建設と駅前商店街の活性化をどのように繋げていくのか。

**答弁** 既存商店街の機能を補完し、共存共栄ができる施設として町営住宅と商業施設の建設を行っていきます。

**質問** 中堅所得者住宅の建設にあたっては、大型車などの通行により周辺住民や町道一号线沿いの住民の皆様のご迷惑を考慮し、道路や駐車場等の整備を優先して行うべきであると考えますがどうか。

**答弁** 現店舗での営業を最大限配慮し、建物を先行して撤去することはできないの

で、松田警察署や建設事業者と協議し、適切な方法を検討していきます。

**質問** 24年度予算に関係予算を計上するためには、実施計画に基づいた予算計上が必要不可欠であります。いつ策定するのか。

**答弁** 事業スケジュールに遅れていますので、24年度に策定します。

**質問** 新たな山北ブランドの開発に600万円の委託料が計上されていますが、取組み状況と最後決定の時期及び発表方法について伺います。

**答弁** 委託先の商工会で山北ブランド商品化推進委員会を設置し、研究品の検討や先進地視察を行っています。試作品はおむすびコロりんなど

コロッケ三点があり、3月に披露する予定です。色々なアイデアや各種イベントを通じて、広くPRしていきます。

**質問** B級グルメの開発を行い、B級グランプリに参加することが商店街のにぎわいと活性化に繋がるのではないかと

**答弁** 山北ブランドの開発の中で、B級グルメの商品が開発されたら参加したい。



渡辺 良孝議員

# 観光振興

## Q ▶ 県立ユースンロッジ・溪谷を活かして

### A ▶ 強く県に要望します

**質問** 「丹沢黒部」と言われているユースンの青崩隧道が完成し、黒岩知事が現地を訪れた。その矢先に、県立ユースンロッジの再開を不安視する新聞報道があった。地元の町として、県と協議・要望するなど、今、アクションを起こすべきと考えるが。

**答弁** 昨年から県へ要望してきた。今後も強く要望していく考えである。

**質問** ユースン溪谷を、まず、町民の皆さんに知ってもらうことも大切で、住民参加のユースン溪谷散策など、実施することはどうか。

**答弁** ユースン溪谷については、四季を通じて多くの方々が訪れ、喜んでいただいている方策を検討していく考えである。町民で希望される方が多くいられるようであれば、町としてサポートしていきたい。

**質問** 今後、県への要望について、経過を確認していきたいと考えているが。

**答弁** 県立ユースンロッジの歴史的経過を見ると、非常に大事な施設と認識している。経過は、機会をみて発表していく考えである。



ユースン 溪谷

**丹沢湖周辺のモミジの名所づくりに関して**

**質問** 最近、丹沢湖周辺のモミジの風景がNHKや民報テレビでも放映された。丹沢湖の完成時から多くの関係者が植栽に関わってきている。そして、紅葉の時期での丹沢湖マラソンの延べ参加者は、12万4千人、参加料は約3億円になる。今、紅葉のスポットとして注目されていることから、随時手入れを行っていくべきと思うが。

**答弁** 手入れを行う時期が来ていると考えている。今年度は、国の緊急雇用促進事業で対応したがここで終わる。今後、町の財政事情を勘案し、整備を行っていく考えである。又、丹沢湖域内については、管轄の県企業庁三保ダム管理事務所に、今後も景観整備を要望していく考えである。

# 防 災

## Q ▶ 町単独で防災計画を早急に見直すべき

### A ▶ 自分の命は自分で守るという事が基本です

**質問** 急傾斜地や土砂災害警戒区域等に対して避難経路や避難場所を町民に周知すべきではないか。

**答弁** 急傾斜地や土砂災害警戒区域等については、広報で随時行っていますが、今後は防災マップを町ホームページに掲載し、再度周知します。避難経路は、自分の生命は自分で守る事を基本に、より安全な経路を決めていただきました。

**質問** 国県の指針の改定を待つて計画を見直すのか。

**答弁** 広域避難場所、避難所等の見直しは、自治会長に文書でお願いする中で、町では緊急的な点検の見直しを進めています。

**質問** 3月11日に、避難所体験や運営マニュアル等の訓練や整備をするべきと思うがどうか。

**答弁** 発災時刻に町内一斉に黙とうを行いたいと考えています。避難所体験等は考えていませんが、連合自治会と別途協議していきます。各種マニュアルの必要なものは早急に整備します。

**質問** 9月の防災訓練の内容を変ええるのか。

**答弁** 23年度から、初めて風水害に対応する訓練を実施しました。24年度の合同防災訓練の内容は未定ですが、該当する連合自治会と協議し詰めていきます。また、自衛隊との連携は不可欠ですので引き続き継続し、児童生徒との関係についても教育委員会と協議していきます。

**質問** 災害時支援協定を結ぶ市町村等の考えは。

**答弁** 富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク会議構成市町村、品川区等と協定を締結しています。食糧は行政だけでなく町内民間企業と協議しています。飲料水の確保は、民間企業と協定の締結に努めていきます。

※富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク会議とは、富士山を中心に活気あふれる圏域づくりを目指し、県境を越えた交流を進めるために設立された組織。県西2市8町と静岡県の20市町、山梨県の8市町村で構成される。



瀬戸 恵津子議員

# まちづくり

## Q ▶ より一層のPR・消防広域化の是非

## A ▶ スピード感を持って行動していきたい



石田 照子議員

観光立町山北として、町外に胸張って誇れる四季折々移りゆく景色、癒しの温泉など多くの方に知っていただき、足を運んでいただく為には、もっと、もっとPRが必要と考えます。

### 町のPRについて

**質問** 当町には、世界を指し活躍されている素晴らしい方々がおられますが、盛り上がりには、とても残念に思います。町内外にもっともっとアピールし、ムーブ作りの演出により、町民の意識が高まれば、子供たちの中には刺激を受け、第二の、第三の世界を目指す人材が生まれるチャンスになるかもしれません。町の活性化、スポーツ振興、教育的観点から、今後町としての応援体制はどのようにしていくのか。

**質問** 当町には、世界を指し活躍されている素晴らしい方々がおられますが、盛り上がりには、とても残念に思います。町内外にもっともっとアピールし、ムーブ作りの演出により、町民の意識が高まれば、子供たちの中には刺激を受け、第二の、第三の世界を目指す人材が生まれるチャンスになるかもしれません。町の活性化、スポーツ振興、教育的観点から、今後町としての応援体制はどのようにしていくのか。

### まとめ

**質問** 「ソーラン山北」は10年経ち、今ではイベントの

期待いたします。

集客力として重要なポジションを占めています。町としての位置づけは。

**質問** 消防広域化は、私たちの安全・安心の生活を守る上で大変重要な問題です。安易に合意してはならないと考えますが。

### 消防の広域化について

**質問** 消防広域化は、私たちの安全・安心の生活を守る上で大変重要な問題です。安易に合意してはならないと考えますが。

**質問** 消防広域化は、私たちの安全・安心の生活を守る上で大変重要な問題です。安易に合意してはならないと考えますが。

### まとめ

した、1分1秒を争う大切な部署ですので、慎重に検討していただき、ブータン国のように、山北町民の多くの方々

が幸福だと感じていただけるような町づくりに、手腕を発揮していただくことを大いに期待いたします。

# 減災対策

## Q ▶ 自主防災組織の充実に町の積極的な指導を

## A ▶ ソフトとハード面で支援します



府川 輝夫議員

自力で逃げられない高齢者等災害時要援護者は、地域の支援が必要で、町は要援護者の情報を共有し、自主防災組織と連携し「地域ぐるみで逃げる」体制を整備する事が公助の責任と考え、質問します。

### 自主防災組織の取組について

**質問** 自主防災組織と要援護者に対する町の役割は。

**質問** 町は自助・共助に関わりを持たない訳でなく、防災ハンドブックで自主防災の共助の重要性を説明しています。

**質問** 町と自主防災組織の役割・連携は明確でないが、具体的に何を行うのか。また、連合自治会の役割は。

**質問** 防災ハンドブックで、役割、訓練、活動等を周知しているが、引き続き自主防災組織の役割等について啓発に努めていきます。

### 自主会長等の役割について

は、一時避難場所は自治会長、広域避難場所等の複数の自治会の参集では連合自治会長が長となり、町との連絡や自治会長への伝達、避難所の運営を行っていただきます。

**質問** 連合自治会の役割は、正式に位置づけられていますか。

**質問** 町の方針であり、明確に伝えていきます。

**質問** 町の地域防災計画や災害時要援護者避難プラン全体計画を、自主防災等関係者へ配布等の周知をしているか。

**質問** 平成24年度に策定する要援護者支援プラン個別計画の進捗状況は。

**質問** 現在下準備中で民生委員、児童委員、自主防災組織に協力願う考えでいます。

**質問** 防災情報共有システムの取組について

**質問** 防災情報共有システムは、県の町村情報システムの共同事業を活用しないのか。

### 共同事業システム

**質問** 共同事業システムが、災害時に利用できないか具体的に詰めています。

**質問** 要援護者の生活と災害時支援に、情報を共有するシステム構築は必要でないか。

### 情報発信の方法

**質問** 情報発信の方法として、TVKのデジタルテレビ等で防災情報を伝えることができるよう考えていきます。





鈴木 登志子議員

# 安全安心

## Q ▶ 児童・生徒の安全確保について

### A ▶ 安全管理体制の強化を図っていく

10年前（平成13年）大阪の小学校内で発生した殺傷事件。平成17年には広島市と日光市で小学校1年生（女児）

が下校途中に殺されるとい

痛ましい事件が相次いだ。町

としても児童・生徒をどう守

り守れるかを試行錯誤され、

学校内の安全・登下校の見守

りは徹底されていると思いま

すが、悲劇を起こさないため

にも安全対策の再点検をすべ

きと思えます。

**質問** 学校を不審者から守

る対策は万全なのか。

**答弁** 授業時には校門を閉

めたり、不審者対応の訓練を

受けたり職員研修を実施して

いる。山北中学校には防犯カ

メラを設置している。

**質問** 川村小学校には門扉

もなく、防犯カメラも設置さ

れているが、子どもを守る

ということを第一に考える

と、門扉は設置すべきと思

う。

**答弁** 不審者の予防策には

門扉は重要と考えています。

設置するのに経費の問題もあ

るが、できるだけ早めに取り

組んでいきます。防犯カメラ

はつける方向で考えていきま

す。

**質問** 通学路の安全マップ

の活用は。

**答弁** 学校の実情に応じ

て、通学路の状況の確認を随



登下校を見守る地域の方

**質問** 学校の実情に応じ

て、通学路の状況の確認を随

時行うことにより、児童・生

徒の登下校時の安全を守る

ようにしている。新学期や下

校時が暗くなる時期には広報

# 定住対策

## Q ▶ PFI導入について町の考えは

### A ▶ 2月に素案を説明します

**質問** PFIの仕様書策定

判定はどのように行うのか。

**答弁** 建築アドバイザーに

業務委託し、庁内で十分な検

討を行い作成し、24年2月に

議会に素案を説明する。

**質問** VFMの策定評価を

行う中で、大規模修繕費90

00万円は低くないか。

**答弁** 導入可能性調査での

金額です。今後事業者提案の

中で審査する考えです。

**質問** PFI導入に踏み

切った根拠は。

**答弁** ライフサイクルの中

で、管理運営していくコスト

がPFIでやった方が下がる

のではないかと判断した。

**質問** PFI事業で入札が

不成立になった場合どのよう

に対処するのか。

**答弁** 原因を調査し、訂正

の必要なしと判断されれば、

そのまま再入札を行う。

**質問** 防災体制の充実強化について

**質問** ヘリサイン（救助活

動時の目印）実施の考えは。

**答弁** 自衛隊で熟知してい

ただいておりますので、今の

ところ必要ないと考えてい

る。

**質問** 広域化した場合、小

田原市の出勤回数が上郡より

多いので、救急車が足りなく

なる問題はないのか。

**答弁** 小田原市消防指令セ

ンターのシステムを増設し運

用することになり、問題はな

いだろうと思う。

**質問** 消防デジタル無線共

同化のデメリットは。

**答弁** 中継局の数によっ

て、町全域がカバーされない

場合がある。色々な場合を検

証し慎重に結論を出さなけれ

ばいけない問題だと認識して

いる。

**質問** 安全が保障されない

場合には、広域化に参画しな

いという理解でよろしいか。

**答弁** デメリットが大きい

という事になれば参画しな

い。メリット・デメリットを

精査した中で議会に承認をい

ただかなければいけないと

思っている。

**質問** PFIとは、公共施設等の

建設、維持管理等を民間の資

金、経営能力及び技術的能力

を活用して行う手法。

※VFMとは、従来方式と比

べPFIが総事業費をどれだけ

削減できるかを示す割合。



藤原 浩議員

# 議会活動報告

1月		12月		11月	
26	消防広域化についての説明会	27	議会だより編集委員会	29	議員研修会
25	町村議会議長・副議長等合同研修会	13	議会あり方検討委員会	25	自治功労者表彰式・町村議会議員研修会
23	議会だより編集委員会	8	全員協議会	18	県町村議会議長会役員会
〃	全員協議会	7	第4回定例会・本会議	16	議会あり方検討委員会
〃	第1回臨時会・本会議	6	第4回定例会・本会議	11	議長・副議長各常任委員会委員長等研修会
19	議会運営委員会	〃	福祉教育常任委員会	10	全員協議会
〃	議会だより編集委員会	〃	第4回定例会・本会議	8	足柄上地区1市5町議会議員スポーツ大会
17	議会あり方検討委員会	〃	第4回定例会・本会議		
10	議会だより編集委員会				

## 議会の傍聴に おいで下さい

3月定例会(予定)  
3月5日(月)～



庁舎内テレビでも放映しています

## 議会活動予定

### 2月

- 7日 足柄上郡議員研修会
- 10日 全員協議会
- 17日 県議長会2月役員会・定期総会
- 22日 議会運営委員会
- 22日 全員協議会

お問い合わせ 議会事務局 **75-3653**

●議会ホームページ● <http://www.town.yamakita.kanagawa.jp/gikai/>



中川のどんど焼き



- |       |    |    |
|-------|----|----|
| 委員 長  | 熊澤 | 友子 |
| 副委員 長 | 原  | 憲司 |
| 委員    | 渡辺 | 良孝 |
|       | 藤原 | 浩  |
|       | 石田 | 照子 |
|       | 府川 | 輝夫 |

昨年の東日本大震災、福島原発事故は、誰にも忘れられない未曾有の災害となりました。神奈川県では東京都と連携のもと「震災がれき」の受け入れを表明いたしました。

本町でのゴミ処理は、山北町と開成町とで運営している西部清掃組合で、ゴミ焼却灰の最終処分を長野県の野沢温泉村と中野市の処分場へ委託しています。毎年組合で契約に行っていますが、通常の基準では、向う10年以上受け入れ可能とのこと。委託先でも風評被害に非常に気を使っています。「お互いに運命共同体です。」と言われたことは震災を体験した今、町民皆さんで強く受け止め、感謝の気持ちと責任あるゴミ処理を心掛ける必要があると感じています。

本年は、5月に東京スカイツリー（634m）が開業し、世界一の話題でスタートする年であります。さて、編集委員会では、新しい議会だよりの編集に向け、取り組んでいます。

## 編集後記